

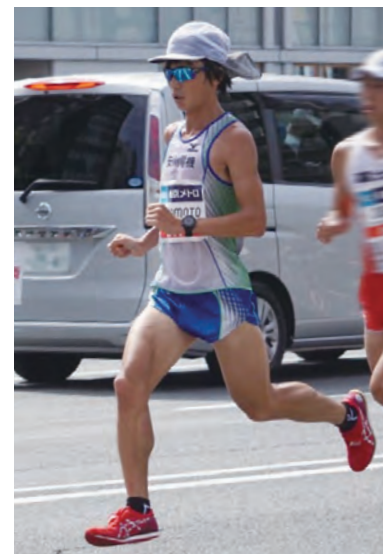


東京オリンピックの日本代表選手の選考会“MGC”(マラソングランドチャンピオンシップ)に中本健太郎選手が出場しました。

レース序盤はマラソン前日本記録保持者の設楽選手が飛び出して独走態勢を作り、後半の追い上げを狙う2位集団に中本選手が着くレース展開となりました。15km地点で先頭とは2分以上の差が開きましたが、2位集団も少しずつペースを上げて前を追います。スタート時から気温も上がり、暑さの影響で有力選手が次々と脱落していきましたが、中本選手は淡々とリズムを刻み、集団後方で息を潜めます。31km地点では中本選手自ら集団を引っ張る積極性を見せ、37km地点で中本選手を含む2位集団が先頭を追い抜きました。起伏が激しくなる39km以降で離れてしまったものの、最後まで粘り切り8位でゴールしました。

中本選手に負けず劣らず、9月の記録会では古賀淳紫選手、大畑和真選手が5000mで自己ベストを更新。古賀選手は今期2回目の自己記録更新で好調をアピールしており、大畑選手も入部直後の怪我のブランクを感じさせない走りを見せてくれました。また、国民体育大会の福岡県代表として大瀬戸一馬選手が4×100mリレーに出場し7位入賞を果たすなど、陸上部全体の士気も上がりつつあります。

今後は駅伝シーズンとなりますので、引き続き応援の程よろしくお願いいたします。



中本健太郎選手 (MGC)

選手コメント



中本 健太郎

MGCではたくさんの応援ありがとうございました。

8位でのゴールとなり、東京五輪マラソン代表の内定切符は掴めませんでしたが、皆様からの声援がとても励みとなり、自分らしいレース運びと存在感を十分に示すことができたと思います。何よりMGCという最高の舞台に立てたのも、皆様の支えや応援のおかげだと心より感謝いたします。

◆ 2019年7月～10月の主な戦績

日程	大会名	成績
7月27日	秩父宮賜杯第59回実業団・学生対抗陸上競技大会「2019オールスターナイト陸上」	100m 大瀬戸一馬 10秒54 (5位)
8月23日～25日	第74回九州陸上競技選手権大会	100m 大瀬戸一馬 10秒72 (7位) 200m 大瀬戸一馬 21秒69 (6位)
9月15日	マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)	中本健太郎 2時間12分46秒 (8位)
9月20日～22日	第67回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	100m 大瀬戸一馬 10秒75 準決勝敗退 200m 大瀬戸一馬 21秒94 予選敗退 5000m 古賀淳紫 14分05秒74 加藤風磨 14分22秒03 10000m 高橋尚弥 29分25秒75
9月28日	佐賀長距離記録会	5000m ツェハイアツパインナデグ 13分37秒21 古賀淳紫 13分52秒99<PB> ダティウルメルガ 13分53秒78 北島寿典 14分05秒52 大畑和真 14分07秒64<PB> 加藤風磨 14分10秒84 野村峻哉 14分28秒83 久保田大貴 14分30秒91 林慎吾 14分38秒44 谷川貴俊 14分39秒47 五郎丸真翔 14分48秒44 高橋尚弥 14分54秒24
10月 8日	第74回国民体育大会	4×100リレー 大瀬戸一馬 7位

※<PB>:自己ベスト、()内は総合順位